

OnDO PBX

Version 1.5

ユーザー・ガイド

Brekeke Software, Inc.

バージョン

OnDO PBX v1.5 ユーザー・ガイド (2005 年 12 月)

著作権

本書の著作権は、Brekeke Software, Inc. にあります。

Copyright ©2005 Brekeke Software, Inc.

本書の一部または全部を、Brekeke Software, Inc. との書面による同意なしに、複製、複製、転載、多言語への翻訳、書き換え、あるいは、転送することは法律で禁じられています。

免責事項

Brekeke Software, Inc. は予告なしに本書の内容を変更する権利を有します。

登録商標

- ◆ *Linux* は *Linus Torvalds* 氏の米国及びその他の国における登録商標あるいは商標です。
- ◆ *Red Hat* は米国 *Red Hat, Inc.* の登録商標です。
- ◆ *Windows* は米国 *Microsoft Corporation* の米国及びその他の国における登録商標です。
- ◆ *Mac* は米国及びその他の国で登録されている *Apple Computer, Inc* の登録商標です。
- ◆ その他製品名と会社名は、一般にその会社の登録商標です。

はじめに.....	4
1. ダイヤル操作方法.....	5
1.1. 通話から「保留」にする.....	5
1.2. 保留中から会話に戻る.....	5
1.3. 保留転送.....	5
1.4. スクリーンド転送.....	5
1.5. 留守番電話の設定・確認.....	6
1.6. コールピックアップ.....	6
1.7. コールパーク.....	6
1.8. 誤って切断した保留中、パーク、転送中の通話に戻る方法.....	7
1.8.1. 保留中の場合.....	7
1.8.2. パーク中の場合.....	7
1.8.3. スクリーンド転送完了前に保留に戻る.....	7
1.9. コールパークのピックアップ.....	7
1.10. 会議.....	8
1.11. スーパーバイズ.....	9
1.11.1. 会議とスーパーバイズの違い.....	9
1.12. 録音.....	9
1.13. 「聞くだけ」モード (話すことはできません。).....	10
2. ユーザー設定.....	11
2.1. 設定ツールへのログイン.....	11
2.2. 設定項目.....	11
2.2.1. メッセージ.....	11

2.2.2.	一般.....	12
2.2.3.	PBX設定	12
2.2.4.	留守番電話設定.....	13
2.2.5.	メッセージファイル:ダウンロード/アップロード	13
2.2.6.	メッセージファイルの種類	13
3.	番号の早見表.....	14
3.1.	発信時におけるコールのタイプの指定.....	14
3.1.1.	発信時のプリフィックス	14
3.1.2.	コールの属性.....	14
3.2.	通話中のコマンド.....	14

はじめに

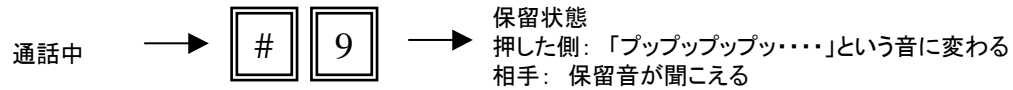
OnDO PBX は IETF 標準プロトコル SIP に準拠したソフトウェア型 IP-PBX です。着信転送、不応答時転送、グループ着信、オートアテンダント、留守番電話など、基本的な PBX の機能を実現します。

本書では、OnDO PBX 経由で電話する場合のダイヤル操作方法や各ユーザーから行える設定内容を説明します。

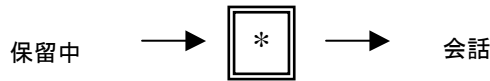
1. ダイヤル操作方法

ご使用になる IP 電話に、SIP サーバアドレスや自分の電話番号など適切な環境設定をおこなってください。以下は、OnDO PBX を介して電話する際に使用可能なダイヤル操作です。

1.1. 通話から「保留」にする

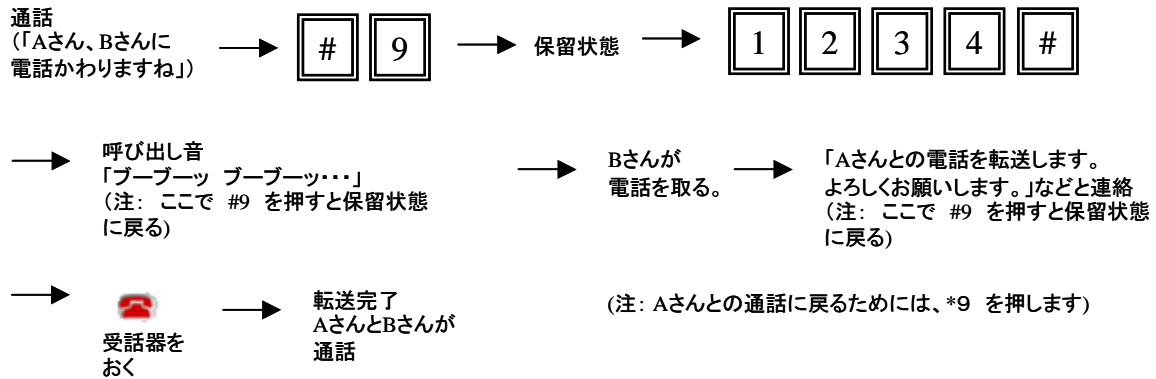


1.2. 保留中から会話に戻る



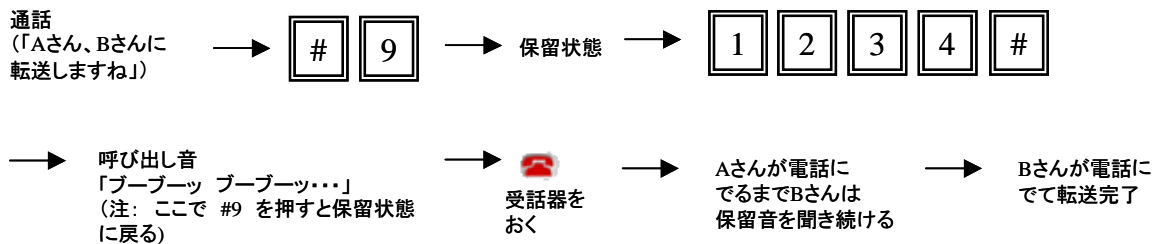
1.3. 保留転送

(転送先に事前連絡あり。例: A さんとの通話を B さんに転送。転送先内線番号 1234)



1.4. スクリーンド転送

(転送先に事前連絡なし。例: A さんとの通話を B さんに転送。転送先内線番号 1234)



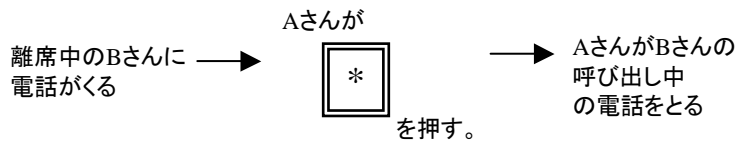
1.5. 留守番電話の設定・確認

管理者に、留守番電話アクセスのための内線番号を確認し、そこに掛けてください。(8 + 内線番号) 応答メッセージにしたがい、新規および保存メッセージの確認や設定を行います。詳細は、マニュアル「留守番電話ナビゲーションマップ」を参照ください。

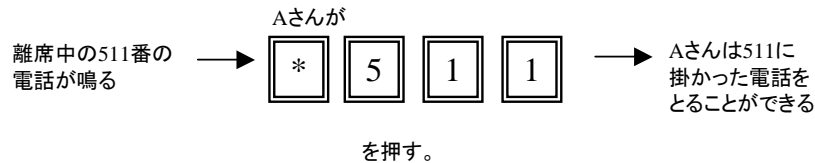
1.6. コールピックアップ

離席中の担当者にかかった電話を、他の電話から取ることができます。

- 1) 同じピックアップグループに属している電話のピックアップ (AさんとBさんが同じピックアップグループに属している)



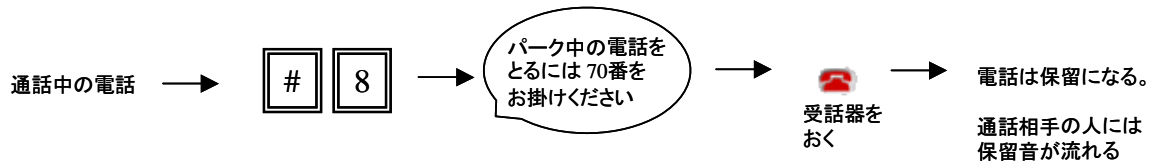
- 2) 同じピックアップグループに属していない電話のピックアップ



1.7. コールパーク

通話中の電話を一旦パークにして保留にします。指定された番号で、その保留中の通話を再びとることができます。

- 1) コールをパークにする



- 2) パーク中の電話をとる



注: パークを取るための番号は、その都度、異なった番号が与えられます。

1.8. 誤って切断した保留中、パーク、転送中の通話に戻る方法

以下のように保留中やパーク中、転送中の通話に戻ることができます。

1.8.1. 保留中の場合

#9 を押して通話を保留にした状態で、何かの拍子に誤って電話を切ってしまった場合、自動的に OnDO PBX は使用していた電話(#9 が押された電話機) を呼び出します。ユーザーがその呼び出しに答えると、#9 を押した時の状態、つまり元の保留状態に戻ります。

または、電話を切ってしまった後に、使用していた電話から ** (アスタリスクを 2 回) をダイヤルしても、通話を回復して保留状態に戻ることができます。

1.8.2. パーク中の場合

#8 を押して通話をパーク状態にしたのち、パーク番号を忘れてしまった場合、コールをパークした電話 (ユーザー) からであれば ** (アスタリスクを 2 回) をダイヤルすると、待たせていた通話相手との会話に戻ります。

1.8.3. スクリーンド転送完了前に保留に戻る

スクリーンド転送をして電話を切った後、転送先が電話に出る前であれば、通話を切った電話から * * (アスタリスクを 2 回) をダイヤルすることにより、#9 を押した時の状態、つまり元の保留の状態に戻ることができます。

1.9. コールパークのピックアップ

コールパークのピックアップの方法には、以下の 3 つがあります。

- 1) パーク時に読み上げられた番号をダイヤル
- 2) パークを開始したユーザー(クライアント) から ** (アスタリスク 2 回) をダイヤル
- 3) 8* (アスタリスク) に続いて、内線番号(もしくは、そのグループの番号)をダイヤル

✓ ピックアップグループが設定されている場合は、8* だけでピックアップができます。

1.10. 会議

1) 会議室に参加する

管理者から会議室の番号を確認し、その番号に掛けます。

2) 一斉に会議のメンバーを召集する

a) 管理者により会議室番号に参加する会議メンバーが設定されている場合は、事前に設定されている会議室番号に掛けることにより会議メンバーを一斉に呼び出すことができます。

b) 会議メンバーが設定されていない場合にも、会議室番号に続いて、会議に参加させたい人の番号をアスタリスク(*)で区切ってダイヤルすることにより会議メンバーを一斉に呼び出すことができます。

例) 5555 * 101 * 102 * 103 (会議室番号 5555 召集メンバー 101,102,103 の場合)

3) 他の人の通話に途中から参加する

他の人が話している通話に割り込んで会議をしたい場合は、0 + * (アスタリスク) に続いて、通話をしているユーザーの内線番号をダイヤルします。

4) 通話中のコンファレンスに新たなユーザーを参加させる

通話中に他の人を会議に招集したい場合、保留転送と同様、#9<内線番号># をダイヤルします。相手が応答したら #0 を押すことにより会議に参加させることができます。ここで、#7 を押すと新しく参加する人は会話を聞くことだけができ、話すことはできません。

5) 通話中のコンファレンスに複数のユーザーを参加させる

通話中のコンファレンスに参加する場合には、会議室番号に続いて、会議に参加させたい人の番号をアスタリスク(*)で区切ってダイヤルします。番号 5555 による会議がすでに存在すれば、メンバーはそこで行われているコンファレンスに参加します。

例) 5555 * 101 * 102 * 103

1.11. スーパーバイズ

通話しているユーザーをスーパーバイズしたい場合は、9* に続いて、スーパーバイズしたいユーザーの番号で発信します。

1.11.1. 会議とスーパーバイズの違い

会議とスーパーバイズの違いは、スーパーバイズ的环境下では通話中のユーザーが何らかの操作をするとスーパーバイザーが居ない時と同様の動作になるのに対し、会議的环境下では転送などの機能の動作が通常の1対1の通話とは異なる点です。

ここでは、A と B が通話中に、C が参加することを想定した例を使って説明します。

A,B との通話中に C が会議として参加すると、A がパーク・転送などの保留中には、B,C には保留音は聞こえません。B と C は会議を継続します。

A,B との通話中に C が A のスーパーバイザーとして参加すると、A がパーク・転送などの保留中には、C は A と全く同じ音を聞くことになり、B には保留音が聞こえます。

また、C は A の代わりに転送操作などの操作もできます。A が切断すると C も切断されます。つまり、会議とは異なり、A の状態を監視するような動作になります。

1.12. 録音

録音のオン・オフのデフォルト値は、管理者により設定されます。留守番電話と同様に管理されますので、ユーザーに与えられている留守番メッセージの保存数を越えると録音ができなくなります。

1) 通話中の録音開始・停止

通話中に #6 を押すことにより、録音機能をコントロールすることができます。録音中に#6を押すと録音解除され、録音していないときには録音開始されます。(開始、停止はブザー音で判別できません。) スーパーバイズ中、会議中でも録音できます。ブザー音は、PBX ユーザーもしくはスーパーバイザーのみに聞こえるようになっています。

2) 発信時の録音オン・オフ

発信時に録音の有無を指定することができます。

録音ありで発信する場合、6+ の後に相手の番号を押します。

録音なしで発信する場合、60+ * の後に相手の電話番号を押します。

(8*, 9*, 0*, *, **, に続いて押しても有効です。)

1.13.「聞くだけ」モード (話すことはできません。)

「聞くだけ」モードは、誰を「聞くだけ」にするかによって操作が変わります。

相手を「聞くだけ」に指定する場合には、先述の「会議」(1.10.)のセクションで説明されているとおり、#7 を使って操作します。通話を受け取った相手は聞くことだけができ、話すことはできません。

ユーザー設定画面で、転送先の番号の前に “~” をつけた場合にも、通話の受け先を「聞くだけ」モードに指定できます。(そのユーザーから再転送されても「聞くだけ」になります) この機能を利用すれば、一斉放送も実現できます。

自分を「聞くだけ」に指定する場合には、7 * + (アスタリスク) に続いて番号を押して発信します (8 *, 9 *, 0 *, *, * *, に続いて押しても有効)。

サイレントモニタとして、誰かの通話を監視する場合は、9 * 7 * に続いて番号を押すことになりま

ず。

2. ユーザー設定

ユーザー自身の電話番号から電話するときのための各種設定を行います。

2.1. 設定ツールへのログイン

- 1) `http://[OnDO PBX のサーバアドレス]:[ポート番号]/pbx` にアクセスします。PBX のサーバアドレスやポート番号は管理者に確認してください。
- 2) ユーザー名(内線番号) とパスワードを管理者から入手してください。ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンを押してログインしてください。

2.2. 設定項目

各画面内の設定項目について以下に説明します。以下の項目を変更したら、[保存]ボタンを押して変更内容を保存してください。

2.2.1. メッセージ

項目	デフォルト値	説明
メッセージ	表示されない	ユーザー宛のメッセージが存在すると、この項目が表示されます。メッセージの種類 (新規/保存)、メッセージが入った日時、ファイルサイズが表示されます。
ダウンロード		プルダウン・リストからメッセージを選択して、このボタンを押すとファイル(wav ファイル) をダウンロードしてメッセージを PC 上で確認することができます。
削除		プルダウン・リストからメッセージを選択して、このボタンを押すと、選択メッセージを削除することができます。

✓ メッセージが入っている時のみ表示されます。

2.2.2. 一般

項目	デフォルト値	説明
名前	空白	ユーザーの説明に使用してください。 (任意。空白のままでも可)
言語	注 1 ⁱ	ユーザー用ウェブ画面の表示やシステム応答メッセージで用いられる言語。 選択肢: 英語/日本語
パスワード	注 1 ⁱⁱ	OnDO PBX へのログインおよび留守録メッセージ確認時に使用するパスワード(数字のみ)。
パスワード (確認)	注 1 ⁱⁱⁱ	確認のため、再度パスワードを入力する。

2.2.3. PBX 設定

項目	デフォルト値	説明
転送先番号	空白	転送先の電話番号または SIP-URI アドレスを指定する。この場合、ユーザーに電話がかかると、すぐに転送先の電話を呼び出す。カンマ(,) 区切りで複数指定できる。
呼び出しタイムアウト(秒)	90	呼び出し音が鳴り始めてから、相手が電話に出るのを待つタイムアウト値
不応答転送	注 2 ^{iv}	呼び出しがタイムアウトした場合の転送先の電話番号または SIP アドレスを指定する。
転送/保留	有効	転送/保留の機能を有効/無効に切り替える
コールピックアップグループ	空白	コールピックアップ機能のグループ番号を指定しておきます。同じグループに属する電話は "*" (アスタリスク) のみの指定でピックアップできます。

ⁱ このユーザーを追加した管理者の設定と同じ

ⁱⁱ このユーザーを追加した管理者の設定と同じ

ⁱⁱⁱ このユーザーを追加した管理者の設定と同じ

^{iv} 管理者ログインで選択できる[オプション設定]メニュー内の[留守番電話プリフィックス] にユーザーIDがついた値

2.2.4. 留守番電話設定

項目	デフォルト値	説明
応答メッセージ	システム 応答 メッセージ	留守番電話の応答メッセージの種類。 選択肢: システム応答メッセージ / パーソナル応答メッセージ / オプションナル応答メッセージ
メッセージ転送	空白	留守録メッセージの転送先の内線番号。指定した番号の人の 留守録メッセージになる。
E メールアドレス	空白	メッセージが入ったときに通知する宛先の E メールアドレス。
E メール通知	しない	E メールによる通知を行うか、行わないかの選択
E メール音声 ファイル添付	しない	E メールによる通知の際に、メッセージの入った音声ファイル を添付するか、しないかの選択

2.2.5. メッセージファイル: ダウンロード/アップロード

項目	説明
ダウンロード	登録済みの留守番電話応答やオートアテンダント応答、保留音の音声ファイル をダウンロードする。ダウンロードするファイルの種類をプルダウン・リストから 選択し、[ダウンロード] ボタンを押すと、ダウンロードが開始される。
アップロード	アップロードするファイルの種類をプルダウン・リストから選択し、[参照 (Browse)] ボタンを押してアップロードするファイルを指定。[アップロード] ボタン を押すとアップロードが開始される。
削除	ファイルの種類をプルダウン・リストから選択し、[削除] ボタンを押すと、選択され たファイルがシステムから削除される。

2.2.6. メッセージファイルの種類

- ◆ パーソナル応答メッセージ: ユーザー作成の留守番電話の応答メッセージ
- ◆ オプションナル応答メッセージ: ユーザー作成のもう一つの留守番電話の応答メッセージ
- ◆ 名前: ユーザーの名前を入れたメッセージファイル (他のユーザーに留守番メッセージを入れたときに、「OOさんからのメッセージです。」のようにファイルが利用されます。)
- ◆ 保留音: 保留音のファイル
- ◆ オートアテンダント応答メッセージ: 最初に応答するオートアテンダントのメッセージ
- ◆ オートアテンダント再入力メッセージ: エラーなどの際にもう一度入力をしてもらう為のメッセージ

メッセージファイルは、以下のフォーマットで作成してください。

フォーマット	wav
サンプリングレート	8000kHz
ビット数	8bit
チャンネル	モノラル

3. 番号の早見表

3.1. 発信時におけるコールのタイプの指定

3.1.1. 発信時のプリフィックス

プリフィックス	説明
8*	パーク中のコールのピックアップ
9*	スーパーバイズモード
0*	会話中の通話に参加 (会議モード)
*	コールピックアップ
**	切断した保留中・転送中の通話に戻る

- ✓ この発信時のプリフィックスは、必ずダイヤルする番号の先頭に指定する必要があります。発信時のプリフィックスを複数、コンビネーションで指定することはできません。

3.1.2. コールの属性

属性番号	説明
6*	録音あり
60*	録音なし
7*	聞くだけモード

- ✓ コールの属性は複数、コンビネーションで指定できます。
例) 9*6*7* <相手の番号>
例) 60* <相手の番号>

3.2. 通話中のコマンド

プリフィックス	説明
#6	録音の開始/停止
#9	保留
*	保留から通話に戻る
#8	コールパーク
#0	相手を会議に参加させる
#7	聞くだけモードで相手を会議に参加させる